

全国小学校キャリア教育研究協議会通信

2018.4.19 vol.4

【1】ご挨拶 全国小学校キャリア教育研究協議会 会長 林 久徳

平成30年度がスタートしました。小学校では、入学式、始業式から2週間がたち、年度初めの参観、懇談会が行われている学校も多いのではないのでしょうか。昨年12月1日に発足した全国小学校キャリア教育研究協議会ですが、2年目を迎え、名実ともに充実したものにしていききたいと強く心に誓い、役員を中心に今年の計画を練っているところです。もうすでにお知らせしていますように、今年の12月6日、7日には第1回全国小学校キャリア教育研究協議会京都大会(第4回全国キャリア教育京都大会)を開催します。第1回大会という記念すべき大会を有意義なものにするために、京都のメンバー始め他府県の役員の方々とも協力して準備を進めていききたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

【2】新指導要領に見るキャリア教育

もうご存知の方も多いと思いますが、平成29年度に告示され32年度に完全実施される新指導要領はキャリア教育に携わるものにとって大きな意味のある指導要領となっています。以下にその主な部分を抜粋します。

第1章 総則

第4 児童の発達の支援

1 児童の発達を支える指導の充実

- (3) 児童が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要としてつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。(新設)

第6章 特別活動

第2 各活動・学校行事の目標及び内容

〔学級活動〕

- (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現(新設)

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする事。

イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解

清掃などの当番活動や係活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、社会の一員として役割を果たすために必要となることについて主体的に考えて行動すること。

ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

学ぶことの意義や現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考えたり、自主的に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ること。

このようにキャリア教育の重要性が「キャリア教育」という文言を使って明記され、日本のすべての小中学校に呼びかけられたのです。新指導要領のこの表現に戸惑っておられる方も多いかもしれませんが、わたしたちは今が絶好の機会と捉え、戸惑っておられる方々の疑問やニーズに応えるとともに研究協議会の発展に尽力していきたいと思ひます。

【3】第1回全国小学校キャリア教育研究協議会京都大会案内

京都大会の1次案内が全国小学校キャリア教育研究協議会ホームページおよび、京都市小学校生き方探究・キャリア教育研究会ホームページにアップされています。

12月6日・7日はぜひ、京都へお越しください。12月6日の夜に会員の交流会も予定しています。是非ご参加ください。

全国協議会HP <http://www.schoolcareer-ed.jp/>

京都研究会HP <https://portal.kyotocity.ed.jp/taxonomy/term/85>

【4】実践発表大募集！！

全国様々な地域や学校で取り組まれているキャリア教育の実践を発表してみませんか？

12月6日・7日に行われる全国大会で分科会やシンポジウムが行われます。そこで皆様方の実践をぜひご発表ください。発表者になられた方は、京都大会への参加費・交通費を大会事務局が負担いたします。ぜひ京都大会事務局までご連絡ください。このメールに返信いただければ結構です。また、紙上、Eメール通信の発表を希望される方も是非ご連絡ください。

【5】キャリア教育実践校紹介

(1)京都市立静原小学校

京都市の北部にある山間の小規模校で、豊かな自然や地域人材を生かした米や芋、野菜などの栽培活動、この地域ならではの間伐体験等数多くの体験的な活動に従来から取り組んできていました。これらの活動を始め、学校生活のすべてをキャリアの視点で見直し、様々な取組が点で終わらず、いろんなつながりを実感できるプログラムにしようとして取り組んでいます。地域の指導者のお客さんになる体験ではなく、自分たちの主体的な活動に地域の方の力をお借りしてより良いものにしていく農業的な取組。一人一人が責任を持って仕事をやりきる「一人掃除」の取組。子どもたちのキャリアを支える、「キャリアカメラ」や「キャリアデザイン」など、個の見取りを重視して、子ども一人一人を大切に育てるためにキャリア教育に取り組んでいます。教職員だけでなく子どもにも意識して取り組めるように、めざす力を「自覚的実行力」という一つに絞り、「自分のやりたいこと、やるべきことを積極的にやり遂げようとする力」こそが静原小学校の教職員も子どもも目指す力であることを常に意識させています。取組の様子は以下

のホームページからご覧ください。

<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=106702>

【6】全国小学校キャリア教育研究協議会登録のお願い

貴都道府県，市町村でキャリア教育に取り組んでおられる小学校の研究会，小学校がありましたら，ぜひ仲間になってください。まだ，研究会組織がない場合は，学校単位，個人で申し込んでいただいても結構です。全国の様々な地域でキャリア教育に取り組んでおられる団体や個人をつなぎ，それぞれの地域の情報，取組の交流や全国大会を開催し，取組の発表の機会を提供します。また，全国大会の開催を希望される地域がありましたらバックアップしたいと考えています。

（1）予定される主な活動内容

- Eメール等による情報交流を行います
- 全国研究会ホームページを立ち上げ，情報を発信します
- 全国大会を開催し，研究会員が集える機会を設けます
- 全国大会で各地域の研究発表の場を提供します
- 全国大会を各地で開催し，キャリア教育の普及に寄与します
- その他，必要であれば研修会等で京都や東京の取組の報告を行います

（2）登録用紙

<https://portal.kyotocity.ed.jp/cmisp/browser?id=workspace://SpacesStore/aae42833-53fb-48bc-995f-53e016bc1e56>

新しくできた全国小学校キャリア教育研究協議会のホームページからも取り出せます

- 全国組織HP <http://www.schoolcareer-ed.jp/>

【7】掲載のお知らせ

公益財団法人日本進路指導協会の機関誌「進路指導」2018年春号に昨年2017年12月1日に発足した全国小学校キャリア教育研究協議会の発足式の記録が掲載されています。是非ご覧ください。

【8】御協力お願い

今回、研究大会の案内や実践校紹介を掲載いたしました。今後、キャリア教育に取り組んでおられる学校の紹介やお寄せいただいた記事の掲載等を行っていきたいと思っています。どしどし情報をお寄せください。また、こちらからもご依頼させていただくこともあると思いますので、お忙しいとは思いますが、ご協力お願いします。

発行：全国小学校キャリア教育研究協議会

編集：林 久徳（京都市小学校生き方探究・キャリア教育研究会会長）

研究会URL：<https://portal.kyotocity.ed.jp/taxonomy/term/85>

事務局：京都市立静原小学校

住所：〒601-1121 京都市左京区静市静原町1125-1

連絡先：[TEL:075-741-2075](tel:075-741-2075) FAX:075-741-2094

全国協議会HP <http://www.schoolcareer-ed.jp/>

京都市研究会HP <https://portal.kyotocity.ed.jp/taxonomy/term/85>

静原小HP <http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=106702>